

平成24年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		独立行政法人理化学研究所施設整備に必要な経費		担当部局庁		研究振興局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成15年度～		担当課室		基礎研究振興課		基礎研究振興課長 安藤 慶明	
会計区分		一般会計		施策名		VII-2 イノベーション創出に向けた産業連携の推進及び地域科学技術の振興 VII-4 科学技術の国際活動の戦略的推進 IX-2 科学技術振興のための基盤の強化 X-1 ライフサイエンス分野の研究開発の重点的推進及び倫理的課題等への取組 X-2 情報通信分野の研究開発の重点的推進 X-4 ナノテクノロジー・材料分野の研究開発の重点的推進 X-8 新興・融合領域の研究開発の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)		独立行政法人理化学研究所法第16条		関係する計画、通知等		第4期科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		理化学研究所の設置する研究所施設の整備充実を図るため、研究所が行う研究所施設の整備に要する経費に対し補助を受け、もって科学技術に関する試験及び研究等の業務を総合的に行うことにより、科学技術の水準の向上を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		我が国唯一の科学技術全般を総合的に行う研究機関として、物理学、化学、生物学、医科学等の幅広い研究分野を対象に、世界最先端の研究活動に必要である先端的な分野融合研究、社会ニーズ等を踏まえた政策課題対応型研究及び最先端研究を支える研究基盤の構築・共用・高度化を総合的・戦略的に実施する。そのために、必要な研究所施設の整備を行う。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		予算の状況	当初予算	7,017	2,037	956	90	670	
			補正予算	7,771	-	復興関係に計上	-		
			繰越し等	△ 233	7,741	413	-		
			計	14,554	9,778	1,370	90	670	
		執行額	14,508	9,778	1,368				
執行率(%)	99.7%	100.0%	99.9%						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
		【施設の整備】 (独)理化学研究所の事業を実施するうえで必要な施設、設備を整備する		成果実績		世界最先端の研究活動を実施するうえで必要となる施設を整備。平成23年度においては、RIビームファクトリー施設、放射光研究施設等を整備。			
		達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
		施設整備の整備件数		活動実績 (当初見込み)	件	13	5	3 (3)	— (1)
単位当たりコスト		— (円/)		算出根拠	※(独)理化学研究所の事業を実施するうえで必要な施設整備費補助金のため、単位当たりコストの算出は困難				
平成24・25年度予算内訳	費目		24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人理化学研究所施設整備費補助金		90百万円	670百万円	日本再生戦略に関する「特別重点要求」(グリーン成長戦略)300百万円 平成24年度事業の終了による減、播磨地区の放射化物保管施設の整備等による増				
	計		90百万円	670百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	当事業は、科学技術基本計画にも必要性が明記されているなど、政策の優先度が極めて高い事業である。なお、先端的、融合的基礎研究を行うといった事業目的を達成するためには、国が独立行政法人に対して一定の財政支援を行う必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定に際しては、競争性を確保するため、例えば、SPring-8運営における委託業務については、公認会計士など外部有識者による検討委員会を設置して総合的な評価を実施している。それらの評価結果を踏まえ、契約を分割して競争的環境の強化を図る等の対応を行っている。その結果、複数応札により従前の一者応札であった契約者とは別の業者が落札する例があるなど、支出の競争性、合理性、必要性についての見直しを図っている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	それぞれ既存の研究基盤の利用を促進する施設整備等を実施しており、その手段、成果目標、活動実績は適切である。また、整備された施設については、基礎研究に使用されるものであり、十分な活用が予定されている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」(平成22年12月7日閣議決定)においても指摘があるとおり、委託業務及び調達における経費削減、透明性の向上を図っており、今度ともこれらの取組を継続することにより、経費の節減に努めるべきである。		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、物理学、化学、生物学、医科学等の幅広い分野を対象とした先端融合研究や政策課題対応型研究及び最先端の研究基盤の構築・共用等に取り組む理化学研究所の施設・設備の整備に必要な施設整備費補助金を支出するものである。</p> <p>2. 所見: 中期目標・中期計画に掲げられた計画に従って着実に実施すべきである。しかしながら、契約に当たっては1者応札となっている案件が見受けられることから、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	○ 平成23年2月から開催された研究開発事業に係る調達の在り方に関する連絡会議(関係府省)及び検証会議(関係法人)において、研究開発の特性に応じた調達の在り方について検討・情報共有を開始したところ。また、文部科学省所管の8法人が参加する研究開発調達検討会合において、コスト削減やベストプラクティスの抽出・実行について、契約額の適正化、競争性・透明性の向上等の具体策などの観点において検討を行い、平成24年1月に結論を出している。競争性が低い調達案件が多く一社応札を縮減することが困難であるところであるが、これを受け、実質的な競争性の確保や調達事務の効率化に向けた努力を行なっている。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
【行政事業レビュー】 ・契約に係る透明性・適正性の検証(独立行政法人理化学研究所(SPring-8の運営業務))(結果)事業の効率化、成果公開優先利用枠の拡大を含めた自己収入増、外部有識者も交えた外部委託等の運営体制のあり方を検討 ※施設整備費補助金のうち、放射光研究施設整備費が関連			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	0334	平成23年行政事業レビュー	0267

シート①

文部科学省
1,368百万円

〔独立行政法人理化学研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を補助〕

【補助】

【A】

(独)理化学研究所
1,368百万円

【B】
研究事業
1,341百万円

【C】
バイオリソース関連事業
27百万円

科学技術に関する試験及び研究等の事業

バイオリソース及びその特性情報の収集・検査・保存、並びに維持・保存及び利用のために必要な技術開発事業

シート②

【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】	【一般競争入札】
<p>【B-1】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多種粒子測定装置用超伝導双極電磁石システム ・株式会社東芝 ・534百万円 	<p>【B-2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・bl43LXU用高分解能X線非弾性散乱スペクトロメータ ・仁木工芸株式会社 ・133百万円 	<p>【B-3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実験動物飼育・解析研究棟什器 ・株式会社コイズマ ・93百万円 	<p>【B-4】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・独立2軸回転式2結晶分光器 ・神津精機株式会社 ・46百万円 	<p>【B-5】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・X線ビームライン用液体窒素冷却装置 ・株式会社鈴木商館 ・33百万円 	<p>【B-6】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹細胞研究開発棟1階飼育室間仕切り整備等建築工事 ・株式会社山本工務店 ・26百万円 	<p>【B-7】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹細胞研究開発棟5階共通機器室研究環境整備工事 ・株式会社山本工務店 ・25百万円 	<p>【B-8】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幹細胞研究開発棟化学実験室等実験環境整備工事 ・株式会社ヒョウ工務店 ・24百万円 	<p>【B-9】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多種粒子測定装置用検出器信号伝達処理機器類 ・林栄精器株式会社 ・22百万円 	<p>【B-10】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BL43LXUビームライン輸送チャンネル用排気ユニット ・株式会社吉川製作所 ・16百万円 	
<p>和光研究所 RIBF実験棟に設置される多種粒子測定装置用超伝導双極電磁石システムの製作</p>	<p>播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置される高分解能X線非弾性散乱スペクトロメータの購入</p>	<p>脳科学総合研究センター実験動物飼育・解析研究棟の什器の購入</p>	<p>播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置される独立2軸回転式2結晶分光器の購入</p>	<p>播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置される液体窒素冷却装置の購入</p>	<p>神戸研究所幹細胞研究開発棟1階飼育室に間仕切りを整備するための工事</p>	<p>神戸研究所幹細胞研究開発棟5階共通機器室の環境整備のための工事</p>	<p>神戸研究所幹細胞研究開発棟化学室等の実験環境整備のための工事</p>	<p>和光研究所 RIBF棟に設置される多種粒子測定装置用検出器信号伝達処理機器類の購入</p>	<p>播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置されるビームライン輸送チャンネル用排気ユニットの購入</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

シート②

文部科学省
1,368百万円

〔独立行政法人理化学研究所に対し、その業務の財源に充てるために必要な金額を補助〕

〔補助〕

〔A〕

(独)理化学研究所
1,368百万円

〔B〕
研究事業
1,341百万円

〔科学技术に関する試験及び研究等の事業〕

シート①

〔C〕
バイオリソース関連事業
27百万円

〔バイオリソース及びその特性情報の収集・検査・保存、並びに維持・保存及び利用のために必須な技術開発事業〕

〔C-1〕
・筑波研究所用地の土地一部購入
・独立行政法人都市再生機構
・27百万円

〔筑波研究所用地として賃借している土地の一部購入〕

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

A.(独)理化学研究所			B-2.仁木工芸株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	制作費、工事費等	1,368	購入	BL43LXU用高分解能X線非弾性散乱スペクトロメータ	133
計		1,368	計		133
B.研究事業			B-3.株式会社コインマ		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	製作費、工事費等	1,341	購入	実験動物飼育・解析研究棟什器	93
計		1,341	計		93
C.バイオリソース関連事業			B-4.神津精機株式会社		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
施設整備費補助金	筑波研究所用地として賃借している土地の一部購入費	27	購入	独立2軸回転式2結晶分光器	46
計		27	計		46
B-1.株式会社東芝			B-5.株式会社鈴木商館		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
製作	多種粒子測定装置用超伝導双極電磁石システム	534	製作	X線ビームライン用液体窒素冷却装置	33
計		534	計		33

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

B-6.株式会社山本工務店			B-10.株式会社吉川製作所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	幹細胞研究開発棟 1階飼育室間仕切り整備等建築工事	26	製作	BL43LXUビームライン輸送チャンネル用排気ユニット	16
計		26	計		16
B-7.株式会社山本工務店			C-1.独立行政法人都市再生機構		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	幹細胞研究開発棟 5階共通機器室研究環境整備工事	25	購入	筑波研究所用地として賃借している土地の一部購入	27
計		25	計		27
B-8.株式会社ヒョウ工務店					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	幹細胞研究開発棟 化学実験室等実験環境整備工事	24			
計		24	計		0
B-9.林栄精器株式会社					
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
購入	多種粒子測定装置用検出器信号伝達処理機器類	22			
計		22	計		0

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社東芝	和光研究所RIBF実験棟に設置される多種粒子測定装置用超伝導双極電磁石システムの製作	534	1	-
2	仁木工芸株式会社	播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置される高分解能X線非弾性散乱スペクトロメータの購入	133	1	-
3	株式会社コイヌマ	脳科学総合研究センター実験動物飼育・解析研究棟の仕器の購入	93	2	-
4	神津精機株式会社	播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置される独立2軸回転式2結晶分光器の購入	46	2	-
5	株式会社鈴木商館	播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置される液体窒素冷却装置の購入	33	1	-
6	株式会社山本工務店	神戸研究所幹細胞研究開発棟1階飼育室に間仕切りを整備するための工事	26	4	91.25%
7	株式会社山本工務店	神戸研究所幹細胞研究開発棟5階共通機器室の環境整備のための工事	25	5	83.02%
8	株式会社ヒョウ工務店	神戸研究所幹細胞研究開発棟化学室等の実験環境整備のための工事	24	3	99.28%
9	林栄精器株式会社	和光研究所RIBF棟に設置される多種粒子測定装置用検出器信号伝達処理機器類の購入	22	1	-
10	株式会社吉川製作所	播磨研究所のX線自由電子レーザー施設(XFEL)に設置されるビームライン輸送チャンネル用排気ユニットの購入	16	1	-

※落札率については、工事関係に限り算定し公表。

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人都市再生機構	筑波研究所用地として賃借している土地の一部購入	27	随意契約	-

※落札率については、工事関係に限り算定し公表。